

平成24年10月							
地区名 ごみ区分	越 河 齋 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巣	市街東北本線 西 側
ペットボトル (第1曜日)	2日(火)	1日(月)	5日(金)	4日(木)	5日(金)	1日(月)	3日(水)
びん類 (第2・第5曜日)	9日(火) 30日(火)	9日(火) 29日(月)	12日(金)	11日(木)	12日(金)	9日(火) 29日(月)	10日(水) 31日(水)
缶 (第3・第5曜日)	16日(火) 30日(火)	15日(月) 29日(月)	19日(金)	18日(木)	19日(金)	15日(月) 29日(月)	17日(水) 31日(水)
その他のプラスチック (第3曜日)	16日(火)	15日(月)	19日(金)	18日(木)	19日(金)	15日(月)	17日(水)
もやせないごみ (第4曜日)	23日(火)	22日(月)	26日(金)	25日(木)	26日(金)	22日(月)	24日(水)
紙 類 容器包装 プラスチック	火	月	金	木	金	月	水
	2・9・16 23・30	1・15・22・29	5・12・19・26	4・11・18・25	5・12・19・26	1・15・22・29	3・10・17 24・31
もやせるごみ	火・金	月・木		月・水・木		火・水・金	
	2・5・9・12・16 19・23・26・30	1・4・11・15・18・22・25・29		1・3・4・10・11・15・17 18・22・24・25・29・31		2・3・5・9・10・12 16・17・19・23 24・26・30・31	

平成24年11月							
地区名 ごみ区分	越 河 齋 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巣	市街東北本線 西 側
ペットボトル (第1曜日)	6日(火)	5日(月)	2日(金)	1日(木)	2日(金)	5日(月)	7日(水)
びん類 (第2・第5曜日)	13日(火)	12日(月)	9日(金) 30日(金)	8日(木) 29日(木)	9日(金) 30日(金)	12日(月)	14日(水)
缶 (第3・第5曜日)	20日(火)	19日(月)	16日(金) 30日(金)	15日(木) 29日(木)	16日(金) 30日(金)	19日(月)	21日(水)
その他のプラスチック (第3曜日)	20日(火)	19日(月)	16日(金)	15日(木)	16日(金)	19日(月)	21日(水)
もやせないごみ (第4曜日)	27日(火)	26日(月)	26日(月)	22日(木)	26日(月)	26日(月)	28日(水)
紙 類 容器包装 プラスチック	火	月	金	木	金	月	水
	6・13・20・27	5・12・19・26	2・9・16・30	1・8・15 22・29	2・9・16・30	5・12・19・26	7・14・21・28
もやせるごみ	火・金	月・木		月・水・木		火・水・金	
	2・6・9・13 16・20・27 30	1・5・8・12・15・19・22・26・29		1・5・7・8・12・14・15・19・21 22・26・28・29		2・6・7・9・13 14・16・20・21 27・28・30	

※不忘・川原子地区のもやせるごみは、毎週水曜日に収集します。

- ごみは、必ず当日の午前8時30分までに集積所に出してください。
- 「もやせるごみ」と「もやせないごみ」の袋は、中身がどちらか分かるよう袋の表に印を付けて出してください。
- びんは、色により3種類(①透明、②茶色、③その他)に分けて、それぞれ資源ごみの袋に入れて出してください。
- 色付き部分は、祝日・年始により収集日が変わっていますのでご注意ください。
- ごみの分け方などの詳細は、「ごみの分け方と出し方 平成23年度～」をご覧ください。

※ごみ収集日カレンダーは、目立つところに張ってご利用ください。

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

岩崎 聰之介 選

歌壇

穂を摘はせ麦藁も飛ばすよな山の端よりの秋のかせ吹く
後藤今朝雄
この暑さしのぐ猫たち涼しげに木立の根元草むらに居る
遠藤 舞
今年より田圃のことは無くなりて暇出来たれ寂しきこちす
村上 英俊
定年の息子のつくりたる初生りの桃を供えて盆を迎えぬ
山田 濱
物なき時代は衣服繕えど今の若者ボロもフアッション
阿部はぎの
山里の緑深まる木木の間うす桃色のねむの花
荒木喜代子
朝の散歩に北白川橋わたりゆく左に蔵王川音さやかに
佐藤喜和子
夏祭りのパレードにそなえ集りて今日もおけいこうちわがざして
阿部みさ子
更新の列は高齢ドライバー次回は我もその仲間入り
佐藤 啓子
四人目の孫を授かり夫いわく「お姫さまだよ陽愛ちゃんね」
鈴木久美子

俳壇

山家 弘子 選

鮎跳て光の淵となりけり
服部 忠孝
浅草の朝顔下けて帰省の子
大庭美智子
夕焼の初秋の色でありけり
菅野さよ
ぐずる子を肩車してぶどう狩
岩松 隆志
シニシニとほりて開く火花かな
跡部 祐子
神将のごと堂々と鬼やんま
和田 游稀

柳壇

四電 英夫 選

柔道がジュウドウパワーに力負け 遠藤 行夫
バーベキューできそう屋根は熱つつち
ここだけの話が沖へまっしぐら
寺崎 啓子
老いの身に重く厳しい消費税
大庭 悦子
脇役でいい主役は孫だから
草野 良子
敬老会慰問の人も高齢者
大庭美智子
行く夏を惜しむ夜空の光り花
村上 照夫
まだ米寿感謝々々の紅を引く
高子うこん
オリビックテレビ疲れも止められぬ
阿部はぎの
扇風機つけるもだるいこの暑さ
石田みどり

黄金の風吹きわたる稲田かな
日向葵や我を見よと咲き誇る
岩澤 伍峯
秋草を倒して貨車の過ぎゆけり
制野 リエ
榛名湖の風にゆらゆらゆれ涼し
鈴木 花

【評】一句目、紺碧色の底なしのような深い河を覗いていると吸い込まれそうである。物音一つない静寂を破るように鮎が光り輝きながら、飛び跳ねては白い飛沫をあげている。それを「光る淵」と表現したのは言い得て妙。
二句目、東京に就職した子が帰って来るといふので首を長くして待っている、浅草の朝顔を重かるうにわざわざ買ってきてくれた。花好きの母親の喜ぶ顔が見たかったのである。母を思う子の優しさに触れ、うれしかったのである。三句目、いつも窓辺に寄り刻々と変わっていく夕焼け空を眺めるのが楽しみの一つになっている。ふと仰ぐ今日の夕焼けは秋の色を帯びていて涼しそである。感性が光る句。

突然ですが、問題です。宮城県に「市」はいくつあるでしょうか？
答えは13市。それでは各市の名前をご存じでしょうか？

風間市長の風のとよこやき

「交流」

8月30日、13市の市長が白石に集まり「宮城県市長会議」が開催されました。会議では、各市が抱える問題の提起や東北市長会に提出する議案を審議。12人の市長は、個性的で魅力のある方ばかりで、個々に、また全体で話をしても、それぞれの「市の思い」を交えた会話になりますので熱が入ります。時には優しい口調でありながら内容は厳しく、それぞれの意見を主張し合います。同じ県でも、内陸部と沿岸部、北と南では、やはり要望も抱える問題も違い、勉強させられます。会議の後には懇談会が行われ、そこでは、公私にわたる話となり、面白いですし、参考になることを多く聞くことができます。会議と懇談会の間に、市長の皆さんに材木岩公園を視察していただきました。「旧上戸沢検断屋敷木村家住宅」や「水室」を体感してもらい、白石の名所を案内しました。その時は小原地区の活性化協議会の方々が行い、県内全市に、地域の持つ宝をアピールすることができたと思っています。ご協力いただいた小原地区の方々には本当に感謝しています。会議、視察、懇談会すべてにおいて、各市長は有意義な時間を過ごし満足されて戻られたことと思っています。

10月6日は、いよいよ「鬼小十郎まつり」。日本全国からこの祭りに参加する方々が見学するために、多数の方々から今年同様白石に集結します。本当にありがたいことです。今年は、「どこから来た白された方と話ができるのか?」「どんな話を聞かせてもらえるのか?」と、今からワクワクして心が躍ります。皆さんも街中やお城などでお客さまを見かけたなら、「どこからおみえですか?」と声を掛けてみてはいかがでしょうか?」そして、その「交流」を楽しんでみるのも祭りの醍醐味ではないかと思えます。その際には、来白された方々は白石のことをよく勉強されていますので、白石の名所や名産、戦国時代の歴史を勉強されていた方が良いかも知れません。会話が弾むこと請け合いです。

10月14日・15日には、「ねんりんビック宮城・仙台2012」が宮城県内で開催されます。白石市でも、